

令和5年度
事業報告書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

公益財団法人福島県臓器移植推進財団

令和5年度事業報告書

1 臓器移植に関する知識の普及啓発に関する事業

(1) イベント等における普及啓発

- ・福島県庁内献血会で、普及啓発ブースを設置しアイバンク登録と臓器提供意思表示の呼びかけを行った。(県庁玄関ホール 4月5日、4月10日、9月4日、1月15日)
- ・第39回目の愛護デー講演会開催(10月14日 南相馬市)
- ・こおりヘルスアップDAY(11月5日 桑折町)

(2) グリーンライトアップの実施

- ・10月の臓器移植普及推進月間、10月16日のグリーンリボンデーに合わせたライトアップ実施(14施設18か所)

(3) 各種関係機関との連携による普及啓発

- ・関係団体等にリーフレット、ポスター配布および掲示依頼(昨年度より継続)
59市町村、県内道の駅35駅、福島県免許センター(福島、郡山)、医療機関
- ・若い世代への意思表示促進を目的として、成人の日のイベントで配布する臓器移植リーフレットを市町村へ発送
- ・県民、医療機関等の問合せに対応し、各種リーフレット等を送付
- ・福島県庁県民ホール等へポスター、リーフレットの掲示(2月、3月)

(4) 出前講座

- ・郡山ザベリオ学園中学校(7月18日)
- ・福島医大初期研修医オートムセミナー(11月25日)
- ・キラリ☆ふれあい広場 星総合病院(11月28日)

(5) 広告媒体の活用による情報発信

- ・福島県地域医療課協力による県政番組出演
FTV「キビタンGO!」(9月20日)
ふくしまFM「キビタンスマイル」(2月14日)
- ・町村会機関紙「ふくしま自治」掲載(第730号)
- ・東邦銀行機関紙「福島の進路」掲載(第498号) ※インターネット掲載あり

(6) 普及啓発資材の作成および配布

- ・若年層を中心に県民に対して、臓器提供の意思表示等について関心を持ってもらうことを目的としたポスターを作成し、関係機関に配布。

2 臓器移植に関する援助事業

(1) 県臓器移植コーディネーターの設置及び資質向上

- ・公益社団法人日本臓器移植ネットワーク主催
北海道・東北臓器移植コーディネーター会議
(7月6日 宮城県仙台市内、12月5日青森県青森市内)
臓器提供現地対応における記録に関する説明会(7月19日 WEB)

全国都道府県コーディネーター連絡会議（8月9日 WEB、2月22日欠席）
2023年度臓器移植コーディネーター認定時研修
（全10日間：10月3～6日および12～17日 WEB、10月10・11日現地）
コーディネーター級別研修会（11月8日～10日）
第2回臓器提供について考えるワークショップ（12月21日 WEB）

- ・第59回日本移植学会（9月21日～23日 京都府）
- ・福島県立医科大学附属病院移植医療部会（4回）
- ・福島県立医科大学肝胆膵移植外科学講座 移植医療ミーティング（毎週金曜日 適宜参加）
- ・都道府県臓器移植推進組織協議会総会（11月22日欠席）
- ・公益財団法人日本アイバンク協会主催 東北ブロック会議（2月2日 東京都内）
- ・公益財団法人日本アイバンク協会主催 全国連絡協議会（2月2日 東京都内）

(2) あっせん対応

- ・脳死下臓器提供対応件数：1件
2月24日（第1041例目）
ドナー家族希望により「東北地方の病院」「50歳代の女性」と公表
心臓（国立循環器病センター）
肝臓（東京大学医学部附属病院）
腎臓（福島県立医科大学附属病院、山形大学医学部附属病院）
- ・県外支援：5件
東京都（8月20日～25日、11月5日、12月1日、1月19日）
埼玉県（12月7日）
- ・臓器提供情報対応：2件（12月25日、2月13日）
- ・ドナー家族訪問：1件（2月10日）

(3) 地域連携促進活動

臓器提供への協力について意向等を確認するため、各医療機関の病院長、看護部長、事務長、救急科医師等と面談を行った。

- ・脳死下臓器提供が可能な施設(5類型)に該当している施設への訪問：のべ11件
福島赤十字病院
公立藤田総合病院
柘記念病院
総合南東北病院
星総合病院
太田西ノ内病院
竹田総合病院
南相馬市立総合病院
いわき市医療センター
あづま脳神経外科病院
- ・非5類型施設の訪問：1件

大原総合病院

- ・「臓器提供適応判断シート」を作成し配布

(4) 都道府県内研修

- ・院内コーディネーター等を対象とした研修会の実施

第38回院内コーディネーター研修会（12月15日 WEB）参加者51名

「終末期の意思決定支援について—院内コーディネーターの立場から—」

聖マリアンナ医科大学病院 移植医療支援室 院内コーディネーター

中村 晴美 先生

「臓器移植から見た救急医療における終末期ケア体制整備の必要性」

新潟大学 大学院医歯学総合研究科 救命救急医学分野 教授 西山 慶 先生

第39回院内コーディネーター研修会（3月2日 WEB+現地）参加者17名

「臓器提供の現状について」

福島県臓器移植コーディネーター 舟山 久美

「わたしたちは“いのち”をどうつなぐか：

臓器提供にかかる院内コーディネーションの現場から」

筑波大学附属病院 公認心理師／臨床心理士、医療コーディネーター、

院内コーディネーター 平井 理心 先生

3 臓器移植に係る組織適合検査の助成に関する事業

腎臓移植希望者が日本臓器移植ネットワークに新規登録を行う際の費用について、自己負担を軽減するために、組織適合（HLA）検査の一部費用（上限15,000円）を助成するもの。

- ・助成金交付件数：9件

※福島県の腎移植希望登録者数180名（令和4年 162名）

（参考：日本臓器移植ネットワーク HP、令和5年12月31日現在）

4 眼球のあっせん等に関する事業

4-1 眼球提供者の募集および登録に関する事業

- ・登録希望者の受付、登録、登録カードの発行

眼球提供登録申込者 9名（前年度 2名）

- ・移植希望登録者の把握

県内 10名（全国 1984名）

4-2 眼球提供のあっせん並びに眼球の摘出及び保存に関する事業

- ・眼球の摘出、あっせんの実施

眼球提供者 0名（前年度 1名、2眼）

角膜提供情報対応 0件（前年度 1件）

角膜あっせん 0眼（前年度 あっせん 0眼）

強膜あっせん 0眼（前年度 あっせん 0眼）

角膜あっせん要請 0眼（前年度 あっせん要請 0眼）

- ・スペキュラーマイクロスコープの設置
9月26日 福島県立医科大学 眼科学講座へ設置

5 その他の事業

- (1) 感謝状発送事業
 - ・感謝状発送 0件
- (2) 受取寄付金等事業
 - ・福島県眼科医会様 30万円
 - ・ライオンズクラブ国際協会 332-D 地区様 30万円
 - ・ときわ会常磐病院様（寄附型自販機設置による寄附）2台 139,912円
 - ・福島県立医科大学駅前キャンパス様（寄附型自販機設置による寄附） 8,966円
- (3) 賛助会員の募集
 - ・賛助会員数 1団体（広野町）10,000円

6 法人の運営

- (1) 理事会・評議員会の開催
 - ・理事会
 - 第22回理事会（6月6日）WEB開催
令和4年度事業報告及び収支決算を承認した
 - 第10回定時評議員会の開催について承認した
 - 第23回理事会（3月19日）WEB開催
令和6年度事業計画書及び収支予算書を承認した
 - ・評議員会
 - 第11回評議員会（6月29日）書面決議
令和4年度事業報告をした
 - 令和4年度収支決算が承認された
 - 役員の選任について承認された
 - 評議員の選任について承認された
 - 定款変更について承認された
- (2) 監事による監査
 - 第10回監事会（5月26日）対面開催
令和4年度の事業報告と収支決算について会計監査が行われた
- (3) 財団関係者の意見交換会の開催等
 - 10月上旬開催を予定していたが、コーディネーターの欠員等により開催できず。

令和5年度事業報告書の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成なし。

令和6年5月

公益財団法人福島県臓器移植推進財団